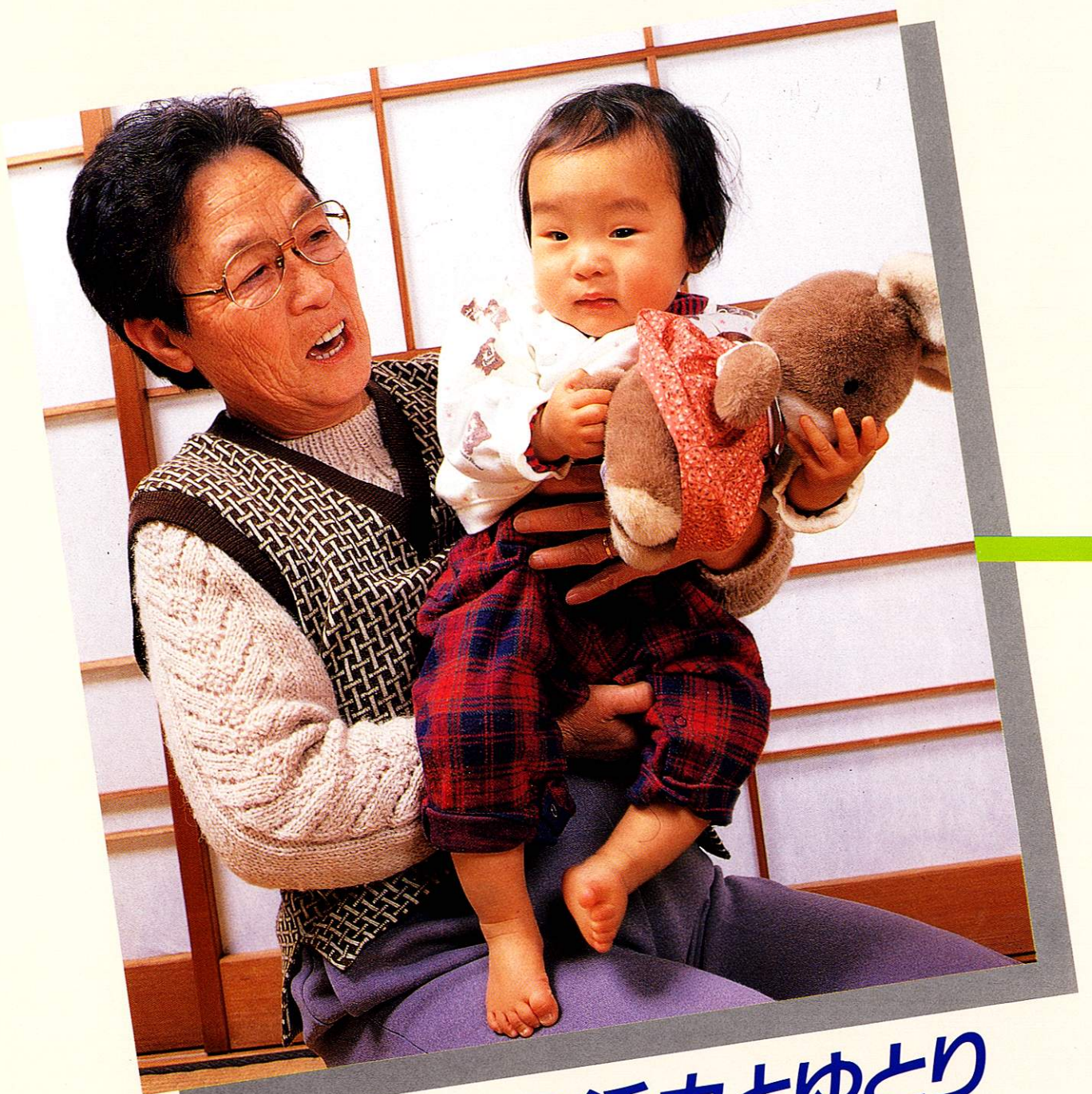




未来を見つめる福生



福祉がつくる活力とゆとり



福祉会館

本市は、一人ひとりの人権が尊重され、だれもが自立し、充実した生活ができる福祉社会をめざしています。とくに核家族化と高齢化がすすむ中で老人の座の安定を図り、さらに生きがいを実感できる生活を保障しなければなりません。また母子・児童・障害者なども含め、すべての弱者が安心して生活できるキメ細かな福祉には、幅広い市民の参加と温かい心のこもった行動が必要です。

WELFARE

We strive for a replete and sound welfare society, in which personal rights are respected and everybody can live independently.

Especially we must assure the senior citizens of their useful life.

We will also address the needs of children, and handicapped persons.

It is necessary for citizens to foster a spirit of neighborly assistance, and live up to that spirit.



生きがいのある老後をめざして

ひとり暮らしや寝たきり老人にとっては、家庭奉仕員やボランティアの活動は、“心のふれあい”として欠かせないものです。また働く意欲と能力のある老人に対しては、シルバー人材センターを通じて就労機会の拡大を図り市民の理解と協力の中で、豊かな生きがいのある老後がおくれるような環境づくりに努めています。



母子福祉の充実

社会環境の変化や交通事故の増大などによって、母子家庭に対する福祉充実の必要性は年々高まっています。本市では、母子相談員を充実させ、適切な生活相談などに応じています。